



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場会社名 株式会社 ドウシシャ 上場取引所 東  
 コード番号 7483 URL http://www.doshisha.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 最高執行責任者 (氏名) 野村 正幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経 理、貿易業務、業務管理担当役員) (氏名) 藤本 利博 TEL 06-6121-5669  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	48,767	△2.4	2,873	△4.9	3,022	△1.8	1,988	11.7
26年3月期第2四半期	49,978	6.4	3,022	△6.9	3,078	△8.7	1,780	△12.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,788百万円 (40.5%) 26年3月期第2四半期 1,984百万円 (11.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	53.32	—
26年3月期第2四半期	47.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	68,180	55,352	80.1	1,465.36
26年3月期	64,975	53,416	80.8	1,408.18

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 54,645百万円 26年3月期 52,512百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

27年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭  
 27年3月期 (予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	4.2	8,500	16.7	8,500	13.2	5,200	17.6	139.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 1社（社名）麗港控股有限公司、除外 1社（社名）－

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： | 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ： | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ： | 無 |
| ④ 修正再表示              | ： | 無 |

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

- |                     |          |             |          |             |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 27年3月期2Q | 37,375,636株 | 26年3月期   | 37,375,636株 |
| ② 期末自己株式数           | 27年3月期2Q | 84,411株     | 26年3月期   | 84,376株     |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    | 27年3月期2Q | 37,291,245株 | 26年3月期2Q | 37,291,294株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間および第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策や金融緩和策等により緩やかな回復が見られました。個人消費については、大手企業をはじめとした所得のベースアップ実施により改善傾向が見られたものの、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動減、円安による輸入原材料価格の上昇や電気料金の値上げ等により、依然として消費マインドの先行きは不透明な状況が続いております。また、当社グループを取り巻く経営環境につきましても、消費者の節約志向、円安による調達コストの増加、夏場の天候不順による季節商品の販売鈍化など厳しい環境で推移しました。

このような経営環境の下、当社グループでは、業種・業態にとらわれず消費者が集まる場所に、様々な商品カテゴリーを組み合わせた“売場丸ごと提案”によるインスタアシェアの拡大を推し進めてまいりました。また、商品戦略としては“トレンドや顧客ニーズに応えた商品”や“値ごろ感のある上質感やプチ贅沢を味わえる商品”の開発、「既存商品のリニューアル」による新たな付加価値の提案に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高48,767百万円（前年同期比97.6%）、売上総利益11,747百万円（前年同期比100.8%）、営業利益2,873百万円（前年同期比95.1%）、経常利益3,022百万円（前年同期比98.2%）、四半期純利益1,988百万円（前年同期比111.7%）の減収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」におきましては、“節約・内食志向ニーズ”と“本格派嗜好”をテーマに展開した削り刃の手動調整により様々な食感を楽しめる氷かき器や1年保証付きのフライパンなどを展開するキッチン雑貨関連、消費者及び市場ニーズを捉えた“低価格で高品質”なLED照明関連、豊富なカラーバリエーションにより様々なシーンに展開可能なスチールラックの販売が好調に推移しました。その他、マリリングッズ、シューズ関連、均一商材等の販売も好調に推移しました。しかしながらA&V関連では前期末の消費税増税に伴う駆け込み需要の影響によりボーナス商戦における販売が低調に推移しました。また、早い梅雨入りや局地的な集中豪雨などの天候不順の影響により、扇風機や夏物衣料などの季節商品の販売がセーブされ低調に推移しました。

結果につきましては、当セグメントの売上高は24,225百万円（前年同期比96.7%）、セグメント利益1,010百万円（前年同期比95.2%）となりました。

「卸売型ビジネスモデル」におきましては、時計やバッグなどの一部の高額商品において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られましたが、訪日観光客の購買力増により新規カジュアルブランドなどの販売が好調に推移しました。また、独占販売を行っている世界的に有名な「ハワイアナス」などの海外メーカーサンダルの販売も好調に推移しました。ギフト関連では、中元期における消費者目線でアソートしたファミリータイプギフト、“簡単・便利”をテーマとした個食ギフト、年間行事をターゲットとしたイベントギフトの販売が好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は22,712百万円（前年同期比98.4%）、セグメント利益1,630百万円（前年同期比98.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は53,807百万円となり、前連結会計年度末(50,440百万円)に比べ3,366百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金1,467百万円、商品及び製品1,309百万円の増加によるものであります。固定資産は14,373百万円となり、前連結会計年度末(14,534百万円)に比べ161百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、68,180百万円となり、前連結会計年度末(64,975百万円)に比べ3,205百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は9,496百万円となり、前連結会計年度末(8,038百万円)に比べ1,458百万円増加いたしました。これは主に、買掛金1,252百万円の増加によるものであります。固定負債は3,331百万円となり、前連結会計年度末(3,520百万円)に比べ189百万円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金への振替に伴う長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は55,352百万円となり、前連結会計年度末(53,416百万円)に比べ1,936百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益1,988百万円及び剰余金の配当559百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、80.1%(前連結会計年度は80.8%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は27,701百万円となり、前連結会計年度末より1,467百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は2,401百万円(前年同期は1,797百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,179百万円、仕入債務の増加額1,236百万円、売上債権の減少額668百万円による増加及びたな卸資産の増加額1,295百万円、法人税等の支払額1,762百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は513百万円(前年同期は246百万円の減少)となりました。これは主に、連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による収入555百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入132百万円による増加及び有形固定資産の取得による支出106百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は1,405百万円(前年同期は609百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出559百万円及び少数株主への配当金の支払額778百万円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月8日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した麗港控股有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直しました。なお、この変更に伴う期首の利益剰余金並びに損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,233	27,701
受取手形及び売掛金	15,931	15,283
商品及び製品	7,292	8,601
短期貸付金	24	13
その他	965	2,208
貸倒引当金	△7	△1
流動資産合計	50,440	53,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,949	7,575
減価償却累計額	△3,517	△3,462
建物及び構築物 (純額)	4,432	4,113
土地	6,588	6,588
その他	1,657	1,791
減価償却累計額	△1,021	△1,120
その他 (純額)	635	671
有形固定資産合計	11,656	11,373
無形固定資産	161	162
投資その他の資産		
投資有価証券	1,525	1,701
長期貸付金	18	12
その他	1,340	1,202
貸倒引当金	△168	△79
投資その他の資産合計	2,716	2,837
固定資産合計	14,534	14,373
資産合計	64,975	68,180
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,420	5,672
1年内返済予定の長期借入金	5	198
未払法人税等	1,797	1,078
役員賞与引当金	55	32
賞与引当金	39	28
その他	1,720	2,486
流動負債合計	8,038	9,496
固定負債		
社債	2,500	2,500
長期借入金	198	—
退職給付に係る負債	353	368
資産除去債務	54	55
その他	413	406
固定負債合計	3,520	3,331
負債合計	11,558	12,827

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,043	6,043
利益剰余金	41,354	42,783
自己株式	△79	△80
株主資本合計	52,310	53,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80	148
繰延ヘッジ損益	103	832
為替換算調整勘定	134	33
退職給付に係る調整累計額	△116	△109
その他の包括利益累計額合計	201	905
新株予約権	—	57
少数株主持分	904	649
純資産合計	53,416	55,352
負債純資産合計	64,975	68,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	49,978	48,767
売上原価	38,321	37,020
売上総利益	11,657	11,747
販売費及び一般管理費	8,634	8,873
営業利益	3,022	2,873
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	7	11
債務勘定整理益	9	30
受取家賃	8	0
為替差益	—	44
その他	65	82
営業外収益合計	94	175
営業外費用		
支払利息	7	6
支払手数料	9	10
為替差損	8	—
その他	13	9
営業外費用合計	38	26
経常利益	3,078	3,022
特別利益		
新株予約権戻入益	0	—
関係会社清算益	—	13
関係会社株式売却益	—	158
特別利益合計	0	172
特別損失		
関係会社株式評価損	44	—
関係会社貸倒引当金繰入額	77	15
貸倒引当金繰入額	18	—
特別損失合計	140	15
税金等調整前四半期純利益	2,939	3,179
法人税、住民税及び事業税	1,064	1,050
法人税等調整額	△19	13
法人税等合計	1,045	1,064
少数株主損益調整前四半期純利益	1,893	2,115
少数株主利益	113	127
四半期純利益	1,780	1,988

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,893	2,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	67
繰延ヘッジ損益	1	729
為替換算調整勘定	119	△131
退職給付に係る調整額	—	7
その他の包括利益合計	90	673
四半期包括利益	1,984	2,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,829	2,691
少数株主に係る四半期包括利益	155	96

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,939	3,179
減価償却費	237	245
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38	△23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22	△11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	91	△95
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	26
受取利息及び受取配当金	△11	△18
支払利息	7	6
関係会社株式評価損	44	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△158
関係会社清算損益 (△は益)	—	△13
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	784	668
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,221	△1,295
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,101	1,236
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4	108
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△640	△248
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	101	341
その他	△1	204
小計	3,392	4,152
利息及び配当金の受取額	11	18
利息の支払額	△10	△6
法人税等の支払額	△1,595	△1,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,797	2,401

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300	△2,000
定期預金の払戻による収入	300	2,000
有形固定資産の取得による支出	△105	△106
有形固定資産の売却による収入	—	1
無形固定資産の取得による支出	△1	△0
投資有価証券の取得による支出	△8	△12
関係会社株式の取得による支出	—	△50
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	555
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	132
貸付けによる支出	△127	△15
貸付金の回収による収入	6	13
その他の支出	△10	△9
その他の収入	0	2
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△246</b>	<b>513</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△5	△5
自己株式の処分による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△43	△43
割賦債務の返済による支出	—	△19
配当金の支払額	△559	△559
少数株主への配当金の支払額	—	△778
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△609</b>	<b>△1,405</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	71	△41
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,013	1,467
現金及び現金同等物の期首残高	23,665	26,233
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,678	27,701

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,064	23,081	48,146	1,832	49,978	—	49,978
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	4,176	4,176	△4,176	—
計	25,064	23,081	48,146	6,008	54,155	△4,176	49,978
セグメント利益	1,061	1,653	2,715	421	3,136	△114	3,022

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△114百万円は、セグメント間取引の消去64百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△118百万円及びその他調整額△60百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,225	22,712	46,938	1,829	48,767	—	48,767
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	4,072	4,072	△4,072	—
計	24,225	22,712	46,938	5,901	52,839	△4,072	48,767
セグメント利益	1,010	1,630	2,641	229	2,870	3	2,873

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引の消去67百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△111百万円及びその他調整額47百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。